

2013/5/15 第97回理事会  
資料2

# 2012年度収支決算案

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

# 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

自 2012年4月1日 至 2013年3月31日

## 2012年度会計報告

### 1. 財務諸表

(1) 貸借対照表	-----	1 頁
(2) 正味財産増減計算書	-----	2 頁
(3) 財務諸表に対する注記	-----	3 頁 ~ 4 頁
(4) 財産目録	-----	5 頁

### 2. 収支計算書

(1) 収支計算書	-----	6 頁
(2) 収支計算書に対する注記	-----	7 頁

### 3. 監査報告書

独立監査人による監査報告書

## 貸借対照表

2013年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金	237,157,125	118,873,482	118,283,643
未収金	8,409,600	12,468,345	△ 4,058,745
未収利息	2,954,857	2,779,183	175,674
前払金	3,951,974	3,215,545	736,429
前払費用	6,944,621	7,625,667	△ 681,046
仮払金	104,173	0	104,173
貸倒引当金	△ 578,443	0	△ 578,443
流動資産合計	258,943,907	144,962,222	113,981,685
2 固定資産			
(1) 特定資産			
減価償却引当資産	277,337,020	321,701,907	△ 44,364,887
インターネット基盤整備基金資産	1,302,727,068	1,239,625,082	63,101,986
特定資産合計	1,580,064,088	1,561,326,989	18,737,099
(2) その他固定資産			
建物附属設備	30,841,694	5,673,511	25,168,183
什器備品	41,300,272	26,251,074	15,049,198
ソフトウェア	12,526,747	18,356,740	△ 5,829,993
電話加入権	1,385,136	1,385,136	0
敷金	29,779,000	23,808,000	5,971,000
保証金	0	8,933,700	△ 8,933,700
投資有価証券	63,250,000	63,250,000	0
長期前払費用	1,387,796	754,759	633,037
その他の固定資産合計	180,470,645	148,412,920	32,057,725
固定資産合計	1,760,534,733	1,709,739,909	50,794,824
資産合計	2,019,478,640	1,854,702,131	164,776,509
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	19,567,744	15,015,651	4,552,093
前受金	0	262,500	△ 262,500
預り金	2,152,014	2,101,156	50,858
仮受金	264,885	0	264,885
賞与引当金	22,807,910	23,074,415	△ 266,505
原状回復費用引当金	0	5,250,000	△ 5,250,000
未払消費税等	4,277,800	633,200	3,644,600
未払法人税等	11,670,200	70,000	11,600,200
流動負債合計	60,740,553	46,406,922	14,333,631
負債合計	60,740,553	46,406,922	14,333,631
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	0	0	0
2 一般正味財産	1,958,738,087	1,808,295,209	150,442,878
(うち特定資産への充当額)	(1,580,064,088)	(1,561,326,989)	(18,737,099)
正味財産合計	1,958,738,087	1,808,295,209	150,442,878
負債及び正味財産合計	2,019,478,640	1,854,702,131	164,776,509

## 正味財産増減計算書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益	(18,467,439)	(19,249,808)	(△ 782,369)
減価償却引当資産受取利息	319,074	192,632	126,442
インターネット基盤整備基金資産受取利息	18,148,365	19,057,176	△ 908,811
② 特定資産評価益	(63,341,506)	(27,008,788)	(36,332,718)
インターネット基盤整備基金資産評価益	63,341,506	27,008,788	36,332,718
③ 受取会費	(103,400,000)	(108,200,000)	(△ 4,800,000)
受取会費	103,400,000	108,200,000	△ 4,800,000
④ 事業収益	(463,094,230)	(360,806,863)	(102,287,367)
インターネット基盤整備事業収益	63,682,700	84,112,733	△ 20,430,033
IP事業収益	399,411,530	276,694,130	122,717,400
⑤ 雑収益	(17,496,667)	(8,963,002)	(8,533,665)
受取利息	86,587	72,089	14,498
受取配当金	17,204,000	8,602,000	8,602,000
雑収益	206,080	288,913	△ 82,833
経常収益計	665,799,842	524,228,461	141,571,381
(2) 経常費用			
① 事業費	(405,289,502)	(392,013,803)	(13,275,699)
インターネット基盤整備事業費	134,726,520	138,725,346	△ 3,998,826
IP事業費	270,562,982	253,288,457	17,274,525
② 管理費	(92,019,984)	(105,057,461)	(△ 13,037,477)
管理費	92,019,984	105,057,461	△ 13,037,477
③ 特定資産運用損	(239,520)	(1,872,092)	(△ 1,632,572)
特定資産償還損	239,520	1,872,092	△ 1,632,572
経常費用計	497,549,006	498,943,356	△ 1,394,350
当期経常増減額	168,250,836	25,285,105	142,965,731
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	6,137,758	28,403	6,109,355
原状回復費用引当金繰入額	0	5,250,000	△ 5,250,000
経常外費用計	6,137,758	5,278,403	859,355
当期経常外増減額	△ 6,137,758	△ 5,278,403	△ 859,355
税引前当期一般正味財産増減額	162,113,078	20,006,702	142,106,376
法人税、住民税及び事業税	11,670,200	70,000	11,600,200
当期一般正味財産増減額	150,442,878	19,936,702	130,506,176
一般正味財産期首残高	1,808,295,209	1,788,358,507	19,936,702
一般正味財産期末残高	1,958,738,087	1,808,295,209	162,043,078
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	1,958,738,087	1,808,295,209	150,442,878

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

- ① 満期保有目的の債券…該当なし。
- ② 子会社株式及び関連会社株式…該当なし。
- ③ 満期保有目的の債券並びに子会社株式及び関連会社株式以外の有価証券
  - ・時価のあるもの…期末日の市場価格等に基づく時価法によっている。
  - ・時価のないもの…個別法による原価法によっている。

#### (2) 固定資産の減価償却の方法

- ① 有形固定資産
  - 法人税法に定める方法によっている。なお主な耐用年数は以下のとおり。
  - ・建物附属設備…定額法及び定率法(6年～15年)
  - ・什器備品…定率法(4～15年)

#### ② 無形固定資産

・ソフトウェアの減価償却は5年間の均等償却によっている。

#### (3) 外貨建有価証券の本邦通貨への換算

外貨建有価証券は、決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は為替差損益として別掲せず、評価損益に含めて処理している。

#### (4) 引当金の計上基準

##### ① 賞与引当金

職員に対する賞与の支給に備えるため、賞与支給見込額の内、当期に帰属する額を計上している。

##### ② 貸倒引当金

債権について、個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上している。

#### (5) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

### 2 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
減価償却引当資産				
定期預金	277,337,020	25,285,199	25,285,199	277,337,020
普通預金	44,364,887	0	44,364,887	0
小計	321,701,907	25,285,199	69,650,086	277,337,020
インターネット基盤整備基金資産				
国内公社債・外国債券等	1,050,020,305	63,341,506	30,239,520	1,083,122,291
定期預金	50,000,000	0	0	50,000,000
普通預金	139,604,777	30,000,000	0	169,604,777
小計	1,239,625,082	93,341,506	30,239,520	1,302,727,068
合計	1,561,326,989	118,626,705	99,889,606	1,580,064,088

### 3 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
減価償却引当資産	277,337,020	0	(277,337,020)	0
インターネット基盤整備基金資産	1,302,727,068	0	(1,302,727,068)	0
合計	1,580,064,088	0	(1,580,064,088)	0

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物附属設備	35,153,427	4,311,733	30,841,694
什器備品	183,312,164	142,011,892	41,300,272
ソフトウェア	244,684,900	232,158,153	12,526,747
合計	463,150,491	378,481,778	84,668,713

5 法人の採用する退職給付制度

確定拠出型の制度として、確定拠出年金制度を設けている。

6 事業費及び管理費の形態別分類

事業費及び管理費の形態別分類は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	事業費			管理費	合計
	IN基盤整備事業費	IP事業費	事業費合計		
給料手当	54,785,471	73,293,318	128,078,789	34,446,737	162,525,526
退職給付費用	2,814,900	4,404,050	7,218,950	1,726,050	8,945,000
賞与引当金繰入額	7,043,500	10,306,000	17,349,500	5,458,410	22,807,910
法定福利費	7,521,210	9,830,355	17,351,565	4,640,279	21,991,844
福利厚生費	125,075	199,890	324,965	90,586	415,551
懇親会費	1,139,200	0	1,139,200	420,000	1,559,200
会議費	367,609	8,146	375,755	2,454,300	2,830,055
交際費	403,335	373,232	776,567	180,882	957,449
旅費交通費	2,408,508	2,125,693	4,534,201	2,334,332	6,868,533
通信運搬費	2,644,955	7,663,184	10,308,139	1,504,402	11,812,541
減価償却費	5,449,568	20,011,947	25,461,515	3,663,425	29,124,940
消耗什器備品費	1,149,410	1,888,593	3,038,003	832,064	3,870,067
消耗品費	2,598,671	4,919,927	7,518,598	2,093,268	9,611,866
保守料	2,869,107	17,485,110	20,354,217	2,124,213	22,478,430
修繕費	767	1,261	2,028	555	2,583
図書費	20,743	187,145	207,888	22,500	230,388
印刷製本費	109,518	0	109,518	58,328	167,846
光熱水料費	1,763,214	2,897,132	4,660,346	1,276,401	5,936,747
その他賃借料	6,068,255	14,988,295	21,056,550	1,267,225	22,323,775
不動産賃借料	11,951,837	19,638,036	31,589,873	8,652,003	40,241,876
機器賃借料	3,465	1,349,592	1,353,057	0	1,353,057
火災保険料	6,495	10,673	17,168	4,702	21,870
保険料	31,420	67,700	99,120	17,900	117,020
諸謝金	2,329,603	2,991,782	5,321,385	10,493,542	15,814,927
損害保険料	0	0	0	300,000	300,000
租税公課	1,839,415	10,484,757	12,324,172	153,128	12,477,300
支払負担金	303,423	39,599,250	39,902,673	0	39,902,673
研修費	166,691	125,088	291,779	135,821	427,600
業務委託費	18,350,398	24,636,983	42,987,381	7,460,998	50,448,379
支払手数料	348,164	312,400	660,564	126,426	786,990
貸倒引当金繰入額	0	578,443	578,443	0	578,443
雑費	112,593	185,000	297,593	81,507	379,100
合計	134,726,520	270,562,982	405,289,502	92,019,984	497,309,486

財産目録

2013年 3月31日現在

(単位:円)

科目	金額		
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	237,157,125		
現金 現金手許有高	42,182		
普通預金 三菱東京UFJ銀行神保町	87,458,220		
普通預金 三菱東京UFJ銀行神保町	45,425,237		
普通預金 みずほ銀行東京中央支店	103,929,123		
普通預金 八千代銀行神田支店	302,363		
未収金	8,409,600		
未収利息	2,954,857		
インターネット基盤整備基金資産未収利息	2,942,591		
減価償却引当資産未収利息	12,266		
前払金 事務局家賃/IX費用等	3,951,974		
前払費用 サーバ等の保守料	6,944,621		
仮払金	104,173		
貸倒引当金	△ 578,443		
流動資産合計		258,943,907	
2. 固定資産			
(2) 特定資産			
減価償却引当資産	277,337,020		
定期預金:三菱東京UFJ銀行神保町支店	277,337,020		
インターネット基盤整備基金資産	1,302,727,068		
国内公社債・外国債券等	1,083,122,291		
定期預金:三菱東京UFJ銀行神保町支店	50,000,000		
普通預金:三井住友銀行東京営業部	169,604,777		
特定資産合計	1,580,064,088		
(3) その他の固定資産			
建物附属設備	30,841,694		
什器備品	41,300,272		
ソフトウェア	12,526,747		
電話加入権	1,385,136		
敷金	29,779,000		
投資有価証券 ㈱日本レジストリサービス 株式 1265株	63,250,000		
長期前払費用 サーバ等の保守料	1,387,796		
その他の固定資産合計	180,470,645		
固定資産合計		1,760,534,733	
資産合計			2,019,478,640
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金 事業支出の未払分等	19,567,744		
預り金 住民税・健康保険料・厚生年金保険料預り金	2,152,014		
仮受金	264,885		
賞与引当金	22,807,910		
未払消費税等	4,277,800		
未払法人税等	11,670,200		
流動負債合計		60,740,553	
2. 固定負債			
固定負債合計		0	
負債合計			60,740,553
正味財産			1,958,738,087

## 収支計算書

2012年4月1日から2013年3月31日まで

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差異	備考
I 事業活動収支の部				
1.事業活動収入				
①特定資産運用収入	(17,570,000)	(18,467,439)	(△897,439)	
減価償却引当資産産利息収入	300,000	319,074	△ 19,074	
インターネット基盤整備基金資産産利息収入	17,270,000	18,148,365	△ 878,365	
②会費収入	(103,500,000)	(103,400,000)	(100,000)	
会費収入	103,500,000	103,400,000	100,000	
③事業収入	(460,560,000)	(463,094,230)	(△2,534,230)	
インターネット基盤整備事業収入	63,540,000	63,682,700	△ 142,700	
IP事業収入	397,020,000	399,411,530	△ 2,391,530	
④雑収入	(20,000)	(17,496,667)	(△17,476,667)	
受取利息収入	20,000	86,587	△ 66,587	
受取配当金収入	0	17,204,000	△ 17,204,000	
雑収入	0	206,080	△ 206,080	
事業活動収入計	581,650,000	602,458,336	△ 20,808,336	
2.事業活動支出				
①事業費支出	(413,780,000)	(378,493,842)	(35,286,158)	
インターネット基盤整備事業費支出	137,700,000	129,736,952	7,963,048	
IP事業費支出	276,080,000	248,756,890	27,323,110	
②管理費支出	(101,340,000)	(94,580,757)	(6,759,243)	
管理費支出	101,340,000	94,580,757	6,759,243	
事業活動支出計	515,120,000	473,074,599	42,045,401	
事業活動収支差額小計	66,530,000	129,383,737	△ 62,853,737	
法人税等の支払額	70,000	11,670,200	△ 11,600,200	
事業活動収支差額	66,460,000	117,713,537	△ 51,253,537	
II 投資活動収支の部				
1.投資活動収入				
①特定資産取崩収入	(73,840,000)	(69,650,086)	(4,189,914)	
減価償却引当資産取崩収入	73,840,000	69,650,086	4,189,914	
②敷金・保証金戻り収入	(18,560,000)	(32,741,700)	(△14,181,700)	
敷金戻り収入	18,560,000	23,808,000	△ 5,248,000	
保証金戻り収入	0	8,933,700	△ 8,933,700	
投資活動収入計	92,400,000	102,391,786	△ 9,991,786	
2.投資活動支出				
①特定資産取得支出	(26,140,000)	(25,285,199)	(854,801)	
減価償却引当資産積立支出	26,140,000	25,285,199	854,801	
②固定資産取得支出	(73,840,000)	(69,650,086)	(4,189,914)	
建物附属設備購入支出	34,220,000	34,229,427	△ 9,427	
工具器具備品購入支出	11,670,000	11,508,875	161,125	
什器備品購入支出	25,950,000	22,284,284	3,665,716	
ソフトウェア制作支出	2,000,000	1,627,500	372,500	
③敷金・保証金支出	(20,850,000)	(29,779,000)	(△8,929,000)	
敷金支出	20,850,000	29,779,000	△ 8,929,000	
投資活動支出計	120,830,000	124,714,285	△ 3,884,285	
投資活動収支差額	△ 28,430,000	△ 22,322,499	△ 6,107,501	
III 財務活動収支の部				
1.財務活動収入	0	0	0	
財務活動収入計	0	0	0	
2.財務活動支出	0	0	0	
財務活動支出計	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
IV 予備費支出	25,000,000	0	25,000,000	
当期収支差額	13,030,000	95,391,038	△ 82,361,038	
前期繰越収支差額	119,250,000	119,254,048	△ 4,048	
次期繰越収支差額	132,280,000	214,645,086	△ 82,365,086	

## 収支計算書に対する注記

### 1 資金の範囲

資金の範囲は、棚卸資産及び前払費用を除く流動資産並びに短期借入金、貸倒引当金、賞与引当金を除く流動負債とする。なお、前期末及び当期末残高は下記に記載するとおりである。

### 2 次期繰越収支差額の内容は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期末残高
現金預金	118,873,482	237,157,125
未収金	12,468,345	8,409,600
未収利息	2,779,183	2,954,857
仮払金	0	104,173
前払金	3,215,545	3,951,974
合 計	137,336,555	252,577,729
未払金	15,015,651	19,567,744
前受金	262,500	0
預り金	2,101,156	2,152,014
仮受金	0	264,885
未払消費税等	633,200	4,277,800
未払法人税等	70,000	11,670,200
合 計	18,082,507	37,932,643
次期繰越収支差額	119,254,048	214,645,086

### 3 事業費支出及び管理費支出の形態別分類

事業費支出及び管理費支出の形態別分類は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	事業費支出			管理費支出	合計
	IN基盤整備事業費支出	IP事業費支出	事業費支出合計		
給料手当支出	62,288,971	82,229,818	144,518,789	38,346,737	182,865,526
退職給付支出	2,814,900	4,404,050	7,218,950	1,726,050	8,945,000
法定福利費支出	7,521,210	9,830,355	17,351,565	7,374,694	24,726,259
福利厚生費支出	125,075	199,890	324,965	90,586	415,551
懇親会費支出	1,139,200	0	1,139,200	420,000	1,559,200
会議費支出	367,609	8,146	375,755	2,454,300	2,830,055
交際費支出	403,335	373,232	776,567	180,882	957,449
旅費交通費支出	2,408,508	2,125,693	4,534,201	2,334,332	6,868,533
通信運搬費支出	2,644,955	7,663,184	10,308,139	1,504,402	11,812,541
消耗什器備品費支出	1,149,410	1,888,593	3,038,003	832,064	3,870,067
消耗品費支出	2,598,671	4,919,927	7,518,598	2,093,268	9,611,866
保守料支出	2,869,107	17,638,908	20,508,015	1,922,406	22,430,421
修繕費支出	767	1,261	2,028	5,250,555	5,252,583
図書費支出	20,743	187,145	207,888	22,500	230,388
印刷製本費支出	109,518	0	109,518	58,328	167,846
光熱水料費支出	1,763,214	2,897,132	4,660,346	1,276,401	5,936,747
その他賃借料支出	6,068,255	14,988,295	21,056,550	1,267,225	22,323,775
不動産賃借料支出	11,951,837	19,638,036	31,589,873	8,652,003	40,241,876
機器賃借料支出	3,465	1,349,592	1,353,057	0	1,353,057
火災保険料支出	6,495	10,673	17,168	4,702	21,870
保険料支出	31,420	67,700	99,120	17,900	117,020
諸謝金支出	2,329,603	2,991,782	5,321,385	10,493,542	15,814,927
損害保険料支出	0	0	0	300,000	300,000
租税公課支出	1,839,415	10,484,757	12,324,172	153,128	12,477,300
負担金支出	303,423	39,599,250	39,902,673	0	39,902,673
研修費支出	166,691	125,088	291,779	135,821	427,600
業務委託費支出	18,350,398	24,636,983	42,987,381	7,460,998	50,448,379
支払手数料支出	348,164	312,400	660,564	126,426	786,990
雑支出	112,593	185,000	297,593	81,507	379,100
合 計	129,736,952	248,756,890	378,493,842	94,580,757	473,074,599

## 独立監査人の監査報告書

平成25年5月2日

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

理事長 後藤 滋樹 殿

横浜みなと会計事務所

公認会計士 江田 寛 ㊞

### <財務諸表監査>

私は、社団法人日本ネットワークインフォメーションセンターの平成24年4月1日から平成25年3月31日まで2012事業年度の財務諸表、すなわち、貸借対照表、正味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及び財産目録について監査を行った。

### 財務諸表に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表に重要な虚偽表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 監査意見

私は、上記の財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表に係る期間の財産及び正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

### <収支計算書に対する意見>

私は、社団法人日本ネットワークインフォメーションセンターの平成24年4月1日から平成25年3月31日まで2012事業年度の収支計算書（収支計算書に対する注記を含む。以下同じ。）について監査を行った。

### 収支計算書に対する理事者の責任

理事者の責任は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成17年3月23日公益法人等の指導監督等に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ。以下「内部管理事項」という。）に従って収支計算書を作成することにある。

### 監査人の責任

私の責任は、収支計算書が、内部管理事項に従って作成されているかについて意見を表明することにある。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

### 収支計算書に対する監査意見

私は、上記の収支計算書が、すべての重要な点において、内部管理事項に従って作成されているものと認める。

### <追記情報>

日本ネットワークインフォメーションセンターは、平成25年4月1日、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項の「特例社団法人」から同法第45条による認可を受け「一般社団法人」に移行した。

### <利害関係>

一般社団法人 日本ネットワークインフォメーションセンターと私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

# 監 事 監 査 報 告 書

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター  
理事長 後 藤 滋 樹 殿

社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

監事 香川 進吾 ㊟

2013年5月7日

監事 岸川 徳幸 ㊟

2013年5月7日

監事 成田 伸一 ㊟

2013年5月7日

私たち監事は、2012年4月1日から2013年3月31日までの事業年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告いたします。

貸借対照表、正味財産増減計算書、財産目録及び収支計算書は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況及び財政状態を正しく示していると認めます。また事業報告書の内容は、経営状況を正しく示しており、社団法人の業務または財産に関し、不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実はないことを認めました。

以 上